

登別温泉の魅力をアピール

～『のぼりべつインフォメーションプラザ』オープン～

5月10日(日)、登別温泉町の極楽通りに『のぼりべつインフォメーションプラザ』がオープンしました。

このプラザは、道のふるさと雇用再生特別対策推進事業補助金を活用した市の事業で、年間約20万人が訪れる外国人観光客に対応するため、通訳のできるコンシェルジュを配置した案内所を開設し、観光客へのPRを図るとともに、市内の雇用・就業機会の創出を目的としています。

施設内には、英語や韓国語などに対応できるスタッフを2、3人程度配置して、市内の観光案内や各種パンフレットを配布するほか、わさび漬けやラーメン、プリン、納豆、サケジャーキー、湯の華、スキンソープなどの市内の特産品も販売。運営は、合同会社登別ゲートウェイセンターが担い、9時から21時まで、年中無休で営業し、外国人観光客に対して登別温泉の魅力をアピールしていきます。



ホテル火災を想定 放水作業手際よし

～消防署・消防団合同放水訓練～



4月23日(木)、登別温泉町のホテルで消防職員と消防団員による『合同放水訓練』(市主催)が行われました。

この訓練は『春の全道火災予防運動(4月20日～30日)』の一環として、毎年実施しています。

この日は、登別温泉支署と消防団登別温泉分団から30人が参加し、8階の客室から出火し上層部に延焼、宿泊客1人が屋上に取り残され負傷していることを想定。はしご車による救出、ポンプ車による放水、救急車による搬送などの訓練を行いお互いの連携を確認するとともに、訪れる観光客や地域の方に『火災予防』を呼び掛けました。

消防署と消防団では、このほか火災予防運動期間中、鷲別町や登別本町などでも訓練を行い約100人が参加し、万一の火災に備えました。

鉱山の春を感じて

～春らんまん。木ウイーク。

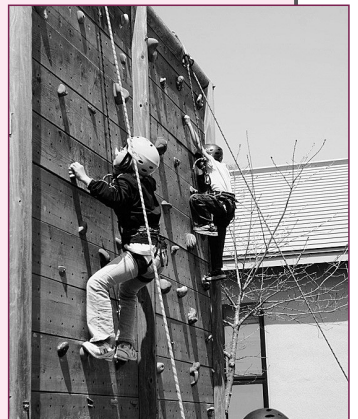
GWコーザン・スペシャルウイーク×アースデイ E^zo

5月3日から5日までの3日間、ふおれすと鉱山で『GWコーザン・スペシャルウイーク×アースデイ E^zo』(ふおれすと鉱山主催)が行われました。

この催しは、鉱山の春を楽しむ旬の自然体験ができるイベントと地球のことを考えて行動する日『アースデイ』とのジョイント企画で、『木育』をテーマに、クライミング選手権、もくもくトライアスロンレース、丸太切り選手権、マイスプーンづくりなど、さまざまなプログラムが行われました。

もくもくトライアスロンでは、中学生・大人の部、子どもの部、親子の部に分かれて28人が参加し、遊歩道を駆け抜け、木のアスレチック&葉っぱのトンネルを抜け、最後に丸太を転がしてゴール。グラウンド全体を使って繰り広げられた白熱のレースに参加者・観客もヒートアップしていました。

▼もくもくトライアスロン



▲クライミング選手権